

臨床工学技士の職域の拡大を考えるⅣ

『移植医療と臨床工学技士』

日時:平成29年3月11日(土)13:00

場所:近畿大学生物理工学部 アリーナ
(和歌山キャンパス) **※聴講無料**



(国宝)根来寺大塔

アクセス:<http://www.waka.kindai.ac.jp/access/>

【特別講演】

国立循環器病研究センター・移植医療部・部長 ふくしま 福嶋 のりひで 教偉
『移植医療の過去、現在、未来』

【招待講演】

国立循環器病研究センター・臨床工学部 西岡 宏
『移植医療における臨床工学技士の役割と展望』

【企業講演】

テルモ株式会社 山本 夏子
『企業における臨床工学技士の取り組み:循環器治療に向けて』

【企画講演】

日本臨床工学技士会 Y・ボード近畿地区・代表 杉浦 正人
『日本臨床工学技士会の活動および役割』

※学外の方で聴講を希望される方は、お申し込みをお願い致します。

【対象者】医療者・企業人・教職員・学生・高校生(保護者)

【申込み方法】①所属、②職名(もしくは学年)、③氏名、④E-mailを明記の上、下記までメールにてお申し込みください。

事務局:黒田(E-mail: negoro@waka.kindai.ac.jp)

http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/negoro1/index_8.html

代表幹事:古藺 勉(医用工学科)

講演の要旨

『移植医療の過去、現在、未来』

国立循環器病研究センター 福嶋 教偉

我が国では臓器提供が著しく少ないため、臓器移植件数は欧米に比較して極めて少ない。そのため、移植までの人工臓器の役割は、非常に大きい。本講演では、心臓移植を中心に、我が国における臓器移植の歴史、現状を概説し、臓器移植とともに、人工臓器、特に補助人工心臓の展望についてお話しする。

『移植医療における臨床工学技士の役割と展望』

国立循環器病研究センター 西岡 宏

2010年7月に改正臓器移植法が施行され、我が国の心臓移植の重要性は益々高まっている。移植までの命の橋渡しとして使用される生命維持管理装置、補助人工心臓装置の管理は今や臨床工学技士の大きな業務の一つとなっている。今回、講演を通じて移植医療における役割と展望について業務をもってお話ししたい。

『企業における臨床工学技士の取り組み：循環器治療に向けて』

テルモ株式会社 山本 夏子

企業を通じて医療に携わり、循環器領域の医療チームの一員として患者様へ製品を提供できることを誇りに思います。医療情勢と競合の動きにアンテナをはり、病院や患者様へ最先端で最適なご提案ができる点は企業の魅力です。弊社で取り扱う循環器領域製品(補助人工心臓、再生医療製品ほか)の紹介も交えお話できればと思います。

『臨床工学技士会の活動および役割』

日本臨床工学技士会 Y・ボード近畿地区 杉浦 正人

臨床工学技士として社会に貢献する、また個人としてのスキルアップを目指す、将来の臨床工学技士像を考えた場合、なにが私たちに必要でしょうか？日本臨床工学技士会、地方臨床工学技士会、近畿Yボードの活動報告をし、将来の自身の臨床工学技士としての役割を考えるきっかけになれば幸いです。